

保証書

この製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により、無料で修理いたします。
※印欄の記入のない場合には、有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	RT-419DX	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1 年間
	年 月 日から	
※ お客様	ご住所 〒 TEL.	様
	氏名	
※ 販売店	店名住所 TEL.	印

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

TEL 045(242)4375

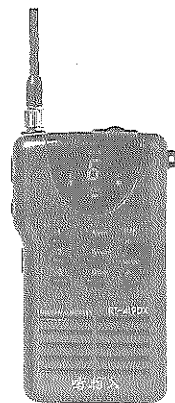
MARUHAMA
UHF/FMマルチハンドレシーバー

RT-419DX

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
させていただきます。

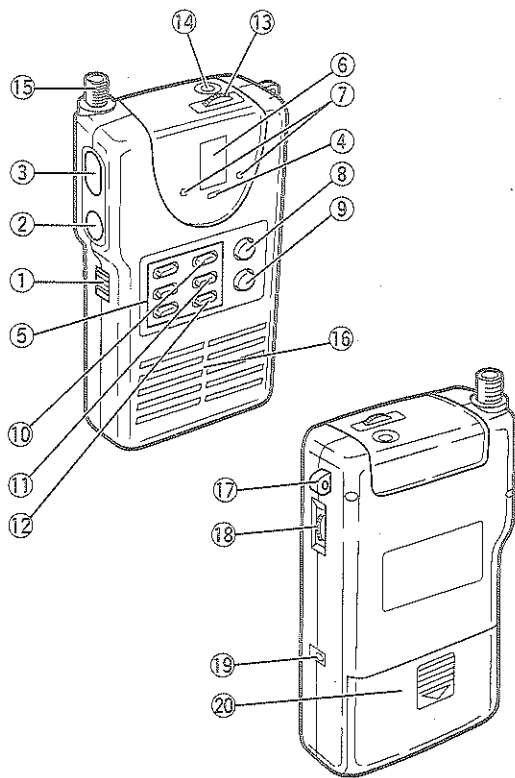
未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は、保証書とともに大切に保管してください。



	ページ
1. 特長	1
2. 各部の名称とはたらき	2
3. ご使用になる前に	5
4. 付属品の取付け方法	5
5. 受信エリア	6
6. 使用方法	
1. エリアをサーチして聴く	7
2. マニュアル選局	8
3. ダイレクト受信	8
4. プライオリティ受信	10
5. メモリー登録	11
6. 秘話通信 (スクランブル) の解読	12
7. 盗聴電波の確認	13
8. 機能について	
1. ファンクションボタンを使用した機能	14
2. おもしろ機能	15
3. その他の機能	17
9. 使用上のご注意	18
10. 使用上の制限	18
11. 故障とお考えになる前に	19
12. 主な仕様	20

- **簡単操作の超高感度おもしろ受信機**
情報受信機能をコンパクト・ボディに集約。ワイドな情報を超高感度でキャッチします。電源が入ると直ちに自動選局を開始して、次々と電波をキャッチします。
- **ワイドな12エリアをワンタッチ受信**
聴きたい情報を自由に選択できるワイドな12エリア (2バンド×6エリア) を設定。聴きたいエリアボタンを押すだけで、情報が飛び込んできます。
- **350.1MHz (速度取縮現場連絡波) を優先受信**
プライオリティ チャンネルに350.1MHzをメモリー。他のバンドをチェック中でも、プライオリティ チャンネルを優先受信するプライオリティ機能を内蔵。
- **制御チャンネル オート パスシーク機能内蔵**
受信に不要な制御チャンネルを、自動的にパスするオートパスシーク機能内蔵。また、不要なチャンネルをパスするチャンネル パスメモリーを、16チャンネル実装しています。
- **チャンネルメモリーは16チャンネル実装**
聴きたいチャンネル (周波数) を16チャンネル メモリー可能。バンドAのエリア6にメモリー登録します。
- **インターリブ機能**
自動車・携帯電話及びMCA業務無線の受信チャンネルを6.25kHzずらしてシークします。
- **秘話通信解読機能**
コードレス電話の秘話通信 (音声反転方式) を解読できます。
- **盗聴電波確認機能付**
UHF帯 (300MHz帯~400MHz帯) を使用した無線式盗聴器の発信電波をキャッチ。盗聴電波を受信すると、インジケータが点滅してお知らせします。
- **便利な2電源方式**
本体内蔵のニッカド電池パックと、付属のACアダプター (家庭用電源AC100V) の2電源方式を採用。充電式電池パックを使用していますので、電池の取り替えは不要です。
- **その他にもおもしろ機能満載**
受信チャンネルの周波数表示機能やダイレクト受信機能、さらにストップウオッチ機能や、ルーレットゲーム等のゲーム機能も実装しています。

2. 各部の名称とはたらき

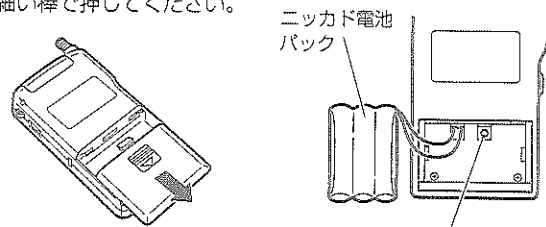


- ① 電源スイッチ
電源をON/OFFします。また、他のボタンとの組み合わせにより、6種類のおもしろ機能があります。
- ② モニター ボタン……………(MONI)
受信中……………スケルチをOFFにします。受信中の電波が弱くなって、音声が途切れる場合に押します。
自動選局中……………自動選局が解除されて、マニュアル(手動)選局になります。その後は、ボタンを押す毎に、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。
- ③ シーク ボタン……………(SEEK)
自動選局の開始ボタンです。
- ④ シーク 表示ランプ
自動選局中はランプが点滅します。
- ⑤ エリア指定 ボタン (1) ~ (6)
受信エリア(受信周波数範囲)の指定ボタンです。聴きたい受信エリアのボタンを押します。また、エリア指定ボタンの1回押しでバンド[A]、2回押しでバンド[B]の指定になります。(バンド表示ランプが切りかわります。)
- ⑥ エリア 表示インジケータ
受信エリアの表示をします。また、機能により周波数や時間の表示をします。
- ⑦ バンド 表示ランプ
受信エリアのバンド [A] または [B] の表示をします。
- ⑧ ファンクション ボタン……………(FUNC)
秘話解読・ダイレクト受信・チャンネルステップ切換えなど9種類の機能があります。
- ⑨ メモリー ボタン……………(MEMO)
チャンネルメモリー及びパスメモリーの登録をおこなうときに使用します。
- ⑩ パス ボタン……………(PASS)
メモリー ボタンと組み合わせてパスメモリーします。
- ⑪ エンター ボタン……………(ENTER)
ダイレクト選局や、受信中の周波数表示などをおこなうときに使用します。
- ⑫ オウン ボタン……………(OWN)
メモリー ボタンと組み合わせて、チャンネルメモリーします。
- ⑬ シフト ボリューム……………(SHIFT)
秘話通信を解読するときのキャリア調整をします。

- ⑭ 外部スピーカー端子…**EXT・SP**
 付属のイヤホンや別売の外部スピーカーなどを接続します。イヤホンなどを接続すると、スピーカーからは音が出ません。
- ⑮ アンテナ端子 (SMAコネクタ対応)
 付属のマルチバンドアンテナを、ねじ込んで取り付けます。
- ⑯ 内蔵スピーカー
- ⑰ ハンドストラップ取付け部
 付属のハンドストラップを取り付けます。
- ⑱ 音量ボリューム
 スピーカー及びイヤホンの音量調整をします。
 MAX方向にまわすと音量が大きくなります。
- ⑲ 外部電源入力端子…**DC12V**
 付属のACアダプターを接続して外部電源を加えると、内蔵のニッカド電池に充電されます。
- ⑳ リセットスイッチ (電池ケース内部)
 マイコンを初期化するスイッチです。
 初めてニッカド電池の充電をした後に、押します。

3. ご使用になる前に

1. 内蔵のニッカド電池を充電します。
 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してから、付属のACアダプター (家庭用電源AC100V) を外部電源入力端子に接続します。
 ※充電時間は 約12時間。
 ACアダプターを接続したままでも、ご使用になれます。
2. リセットスイッチを押して、マイコンを初期化します。
 本体背面の電池蓋をスライドして外し、内部にあるリセットスイッチを細い棒で押してください。

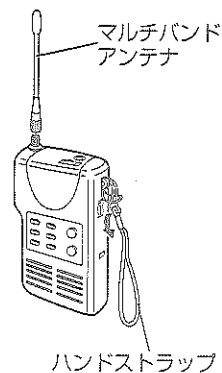


電池蓋を矢印の方向にスライドして外す

リセットスイッチ

4. 付属品の取付け方法

1. アンテナの取付け
 付属のマルチバンドアンテナをアンテナ端子にねじ込んで取り付けます。
2. ハンドストラップの取付け
 本体のハンドストラップ取付け穴に図の様に通して取付けます。



5. 受信エリア

本機は、よく聴くエリアを12エリア（2バンド×6エリア）に分けてメモリー登録しています。また、プライオリティチャンネルとして、速度取締り連絡波をメモリー登録しています。

受信エリア（受信周波数範囲）一覧

バンド	エリア	受信エリア	受信周波数 (MHz)	チャンネルステップ (KHz)
A	1	NTT自動車・携帯電話（基地局）	870.0~885.0	25 (12.5)
	2	新電々系自動車・携帯電話（基地局）	860.0~870.0	12.5
	3	パーソナル無線	901.2~905.0	12.5
	4	小電力コードレス電話	380.2~381.3	12.5
	5	MCA業務無線	850.0~860.0	25 (12.5)
	6	道路公団無線 特定小電力トランシーバー チャンネルメモリー	352.7~400.0 422.2~422.3 メモリー（16チャンネル）	12.5
B	1	NTT自動車・携帯電話（移動局）	925.0~940.0	25 (12.5)
	2	新電々系自動車・携帯電話（移動局）	915.1~924.9	12.5
	3	アマチュア無線	431.5~434.4 438.0~440.0	20
	4	盗聴電波（UHF帯）	300~400MHz帯の 11チャンネル	—
	5	空港無線電話 マリネットホン	830.0~834.0 885.0~889.0	12.5
	6	ワイヤレスマイク マスコミ無線	797.1~809.8 940.5~944.0	12.5
プライオリティ	速度取締り連絡波	350.10	—	

ちよつとひと言

- NTT自動車・携帯電話のチャンネルステップを12.5KHzにすることができます。
- ④印の受信エリア（自動車電話・携帯電話及びMCA業務無線）の受信チャンネルを、6.25KHzずらしてオートシークすることができます。
→ **インターリブ機能**

6. 使用方法

1. エリア（受信周波数範囲）をシークして聴く

メモリー登録してある12エリア（2バンド×6エリア）を呼び出して、オートシークする。

実行方法

（例）バンド[B]のエリア①にメモリー登録しているエリア（NTT自動車・携帯電話移動局）を呼び出して、オートシークする。

- 電源スイッチを **[ON]** にする。
電源が入るとエリア表示インジケータ及びバンド表示ランプが点灯し、自動選局を開始します。→ **オートシークスタート機能**
- 音量を調整する。
音量ボリュームを回して、適度な音量にします。
- エリア指定ボタン **[A]** を2回押す。
バンド[B]のエリア①が呼び出されます。
エリア表示インジケータが①を表示し、バンド表示ランプの[B]が点灯します。
バンド[A]を指定する場合は、エリア指定ボタンを1回押します。
- シークを開始する。
受信エリアを指定すると、最初のチャンネルより自動選局を開始します。→ **オートシークスタート機能**
自動選局中は、シーク表示ランプが点滅します。
- チャンネルを受信する。
使用しているチャンネルがあると、そのチャンネルで自動選局を停止し、受信状態になります。
- 受信中のチャンネルが、終了 または電波が非常に弱くなって受信できない場合は、次に使用しているチャンネルまでシークを開始します。

ちよつとひと言

- チャンネルを受信中に、他のチャンネルをシークしたい場合は、**[SEEK]** ボタンを1回押します。
- 受信チャンネルの電波が弱くなり、音声途切れたりする場合は、**[MONI]** ボタンを1回押します。
[MONI] ボタンを押すと、スケルチがOFFになり、自動選局が解除されて、そのチャンネルで受信したままになります。（シークしません）

2.マニュアル(手動)選局

エリア内をマニュアル(手動)操作により、1ステップずつ受信します。

操作方法

1 エリア指定する。

お聴きになりたいエリアのエリア指定ボタンを押します。

2 (MONI) ボタンを1回押す。

(MONI) ボタンを押すと、自動選局が解除されて、マニュアル(手動)選局モードになります。

3 (MONI) ボタンを押す。

ボタンを押す毎に、1ステップずつ上側のチャンネルを受信します。



自動選局させたい場合は、(SEEK) ボタンを押します。

3.ダイレクト受信

聴きたいチャンネル(周波数)をボタン操作により入力すると、入力したチャンネルをダイレクト受信します。
受信可能な範囲は、770.00~944.00MHz(ハイ・バンド)および347.00~440.00MHz(ロー・バンド)の範囲内です。

操作方法

(例) 780.50MHzのチャンネルをダイレクト受信する。

1 (FUNC) ボタンを押す。

エリア表示インジケータが [F] を点滅します。

2 (MEMO) ボタンを押す。

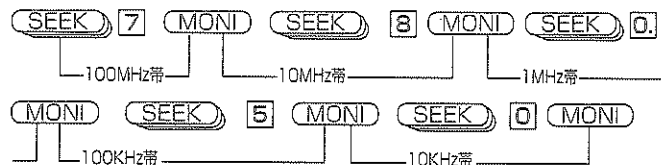
エリア表示インジケータが100MHz帯の数字(3, 4, 7, 8, 9, のいずれか)を点滅して、ダイレクト受信モードとなります。

3 周波数 [780.50] を入力する。

(SEEK) ボタンと (MONI) ボタンを押して、100MHz帯より1桁ずつ周波数を入力します。

(SEEK) ボタンを押すと数字が変わり、(MONI) ボタンを押すと、次の桁に移動します。

[780.50] を入力する場合は、



の順に操作します。

最後の桁(10KHz帯)を入力して (MONI) ボタンを押すと、100MHz帯に戻ります。

4 入力したチャンネル(周波数)の確認をする。

(MONI) ボタンを押して、100MHz帯より順番に、1桁ずつ周波数を表示します。

5 (ENTER) ボタンを押します。

ボタンを押すと、入力したチャンネル(周波数)で受信状態になります。入力したチャンネルがハイ・バンドの場合は [H]、ロー・バンドの場合は [L] がエリア表示インジケータに表示されます。

ちよつとひと言

- ダイレクト受信をすると、エリア指定の範囲がなくなり、ハイ・バンド(770.00~944.00MHz)または、ロー・バンド(347.00~440.00MHz)での受信ができます。

4. プライオリティ受信

速度取締り連絡波 (350.10MHz) の傍受

他のチャンネルを受信中でも、プライオリティチャンネルの検索をおこない、信号があれば優先受信します。プライオリティチャンネルは、350.10MHz (速度取締り連絡波) がメモリーされています。

- ① 他のチャンネルを受信しながら、プライオリティチャンネルを受信する場合

操作方法

- ① **SEEK** ボタンを押し続ける。
 - ② 電源スイッチを **ON** にする。
- 電源が入ると、プライオリティチャンネルの信号検出を、3秒間隔で開始します。信号検出時は、エリア表示インジケーターが **P** の表示をします。
- ③ プライオリティチャンネルに信号があれば、エリア表示インジケーターが **P** を表示して、受信状態になります。
 - ④ プライオリティチャンネルの信号が終了すると、受信前の状態に戻ります。
 - ⑤ プライオリティ受信を解除する場合は、電源を **OFF** にします。

ちよつとひとこと

- プライオリティチャンネルの信号検出時は、受信中の音声は3秒間隔で途切れますが、これは故障ではありません。
- ② プライオリティチャンネルのみ受信する場合

操作方法

- ① **MONI** ボタンを押し続ける。
 - ② 電源スイッチを **ON** にする。
- 電源が入ると、エリア表示インジケーターが **P** を表示して、プライオリティチャンネルの受信待ち状態になります。
- ③ プライオリティチャンネルに信号があれば、インジケーターの **P** が点滅し、ブザー音が鳴って、プライオリティチャンネルの受信をお知らせします。
 - ④ プライオリティ受信を解除する場合は、電源を **OFF** にします。

5. メモリー登録

受信中のチャンネルをメモリーするチャンネルメモリーと、制御チャンネルなど受信に不要なチャンネルをパスするチャンネルパスメモリーを、実装しています。

① チャンネルメモリー

受信中のチャンネルをメモリーバンク (バンド **A** のエリア **6**) にメモリー登録します。最大16チャンネルまで、メモリー登録できます。

操作方法

- ① チャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押す。
エリア表示インジケーターが点滅します。
- ② **G/OWN** ボタンを押す。
ブザー音が鳴り、エリア表示インジケーターが、**E** を表示します。

チャンネルメモリーにメモリー登録終了

② チャンネル パス メモリー

受信に不要なチャンネルをパスメモリーに登録しておくことで、オートシーク (自動選局) 中は、不要なチャンネルをパスします。最大16チャンネルまで、メモリー登録できます。

操作方法

- ① 不要なチャンネルを受信中に **MEMO** ボタンを押す。
エリア表示インジケーターが点滅します。
- ② **4/PASS** ボタンを押す。
ブザー音が鳴り、エリア表示インジケーターが、**P** を表示します。

パスメモリーにメモリー登録終了

ちよつとひとこと

- メモリー登録した内容を消去する場合は、電池ケース内部にあるリセットボタンを押してください。チャンネルメモリー及びチャンネルパスメモリーの内容を、すべて消去します。

6. 秘話通信 (スクランブル) の解読

コードレス電話の盗聴防止用秘話通信機能 (スクランブル機能) は、主に音声反転方式が使用されています。

秘話機能がかかった通信を受信した場合、そのままでは音声として聞くことはできません。

本機は、コードレス電話の音声反転方式の秘話通信に対して、解読機能を内蔵しています。

操作方法

秘話機能 (スクランブル) がかった通信を受信した場合に、**(FUNC)** ボタンを2回押します。

- 1 **(FUNC)** ボタンを押す。
エリア表示インジケーターが **[E]** を点滅します。
- 2 もう一度 **(FUNC)** ボタンを押す。
秘話通信機能を解読します。(音声反転します。)
- 3 シフトボリューム **(SHIFT)** を調整する。
音声が聞き取りやすい位置に、シフトボリュームを合わせます。

ちよつとひとこと

- 秘話解読機能は、受信中のチャンネルのみ有効です。オートシークなどで受信チャンネルが変わった場合は、秘話解読機能が解除されます。

注意

- 秘話通信がかかっていないチャンネルを受信中に、秘話解読機能を実行した場合、音声が反転した状態 (秘話機能がかかった状態) になります。元の状態に戻す場合は、**(FUNC)** ボタンを2回押してください。秘話解読機能が解除されて、秘話解読前の音声に戻ります。
- 本機は、音声反転方式以外の秘話通信を解読することは、できません。
- 自動車電話や携帯電話の秘話通信は、解読できません。

7. 盗聴電波の確認

無線式盗聴器の発信周波数は、特定の周波数帯が使用されています。

無線式盗聴器の発信周波数

- ① FM放送帯：76MHz～90MHz
- ② VHF帯：140MHz帯
- ③ UHF帯：300MHz～400MHz帯

本機は、無線式盗聴器によく使用されているUHF帯の11チャンネルを、メモリーしています。

バンド **[B]** のエリア **[4]** にメモリー登録済み。

盗聴電波の確認

- 1 バンド **[B]** のエリア **[4]** を呼び出してシーク (自動選局) します。
操作方法は、「P7, 6. 操作方法」をご覧ください。
- 2 電波を受信すると、エリア表示インジケーターが、3秒間点滅してお知らせします。→**盗聴電波の確認**
- 3 電波が終了したり、受信できなくなった場合は、次の電波がでているチャンネルまで、オートシークを開始します。

ちよつとひとこと

- FM帯やVHF帯 (140MHz帯) の盗聴電波は、受信できません。
- テレビやラジオなどの輻射電波を受信することがあります。これらの機器からは離れた場所で、ご使用ください。

8. 機能について

1. ファンクション ボタンを使用した機能

ファンクション ボタンと各操作ボタンとの組み合わせにより、8種類の機能があります。ファンクション (FUNC) ボタンを押した後に、各操作ボタンを押します。

- ① (FUNC) ボタン → エリア (1) ボタン
エリア表示インジケータの表示を、減光状態にします。
電源 [OFF] により解除します。
- ② (FUNC) ボタン → エリア (2) ボタン
全ての、プザー音を消します。
[(FUNC) → (2)] または、電源 [OFF] で解除します。
- ③ (FUNC) ボタン → エリア (3) ボタン
NTT自動車・携帯電話およびMCA業務無線のエリアのチャンネルステップを12.5KHzに切換えます。電源 [OFF] により、初期設定の25KHzに戻ります。
- ④ (FUNC) ボタン → エリア (4) ボタン
NTTおよび新電々系の自動車・携帯電話およびMCA業務無線のエリアの受信チャンネルを、6.25KHzずらします。→ **インターリア機能**
チャンネルステップは12.5KHz
電源 [OFF] で、初期設定の受信チャンネルに戻ります。
- ⑤ (FUNC) ボタン → エリア (5) ボタン
オートシーク (自動選局) スタート機能を解除します。
受信中のチャンネルが終了しても、オートシークしません。
オートシークさせたい場合は、(SEEK) ボタンを押します。
電源 [OFF] により解除します。

- ⑥ (FUNC) ボタン → エリア (6) ボタン
チャンネルメモリーに登録したチャンネルのみ (最大16チャンネル)、受信します。エリア指定ボタンおよび電源 [OFF] で解除します。
- ⑦ (FUNC) ボタン → (SEEK) ボタン
自動選局の種類が変わります。
受信中のチャンネルを8秒間受信した後、自動選局を開始します。
(SEEK) ボタンを押すと、元の自動選局に戻ります。
- ⑧ (FUNC) ボタン + (MONI) ボタン
((FUNC) ボタンを押したまま (MONI) ボタンを押す。)
マニュアルダウン選局になります。
(FUNC) ボタンを押した状態で (MONI) ボタンを押す毎に、1ステップずつ下側のチャンネルを受信します。

2. おもしろ機能

電源スイッチと各操作ボタンとの組み合わせにより、マルチバンドシークやストップウォッチ機能、ゲーム機能などのおもしろ機能があります。各操作ボタンを押したまま、電源スイッチを [ON] にします。

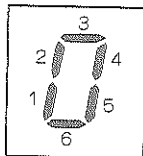
- ① (FUNC) ボタン + 電源 [ON]
ハイ・バンド (770.00MHz~944.00MHz) を受信します。
エリア指定ボタンおよび電源 [OFF] で解除します。
- ② (MEMO) ボタン + 電源 [ON]
ロー・バンド (347.00MHz~440.00MHz) を受信します。
エリア指定ボタンおよび電源 [OFF] で解除します。
- ③ エリア指定ボタン ((1) ~ (6) のいずれか) + 電源 [ON]
電源 [ON] の後、エリア指定ボタンを押す。

指定したエリア番号の順番に受信します。→ **マルチバンドシーク機能**
最大6エリアまで指定ができます。
例えば、エリア (1) ボタンを押しながら電源 [ON] とし、続けてエリア (3) → エリア (5) と押した場合、エリア 1 → 3 → 5 の順番に受信します。電源 [OFF] で解除します。

④ エリア指定ボタン〔**1**〕 + **4**〕 + 電源ON

ルーレットゲームになります。
エリア表示インジケータがルーレット
しますので、エリア指定ボタンを
押ししてルーレットを止めます。
押したエリア指定ボタンの番号と、
ルーレット番号が一致すると、ブ
ザー音が1回鳴ります。ブザー音が
2回鳴った場合は、ハズレです。
電源OFFで解除します。

エリア表示インジケータ



ルーレット番号 (1 ~ 6)

⑤ エリア指定ボタン〔**2**〕 + **5**〕 + 電源ON

受信エリア指定のサイコロゲームになります。
エリア表示インジケータが**1**~**6**まで順に変わりますので、エリア指
定ボタンを押しして止めます。
止まったエリア番号の受信エリアで、オートシークを開始します。

⑥ エリア指定ボタン〔**3**〕 + **6**〕 + 電源ON

10分までのストップウォッチと、6分までのダウンタイマーになります。
ストップウォッチ：電源ONからスタートとします。

SEEK ボタンを押すとカウントを中止し、再度
SEEK ボタンを押すと、最初から (0秒より)
カウントを開始します。

ダウンタイマー：ストップウォッチを中止したときに、エリア指定
ボタンを押します。
エリア指定ボタンを押した番号で、カウントダウン
を開始します。
例えば、エリア **2** ボタンを押した場合は、2分
間のダウンタイマーになります。

電源OFFで解除します。

3. その他の機能

① 受信チャンネルの周波数表示機能

受信中のチャンネルの周波数を、表示することができます。

操作方法

① **MEMO** ボタンを押す。

エリア表示インジケータが点滅します。

② **5/ENTER** ボタンを押す。

エリア表示インジケータに、(受信中のチャンネルの) 100MHz帯
の数値が点滅します。

③ **SEEK** ボタンを押す。

SEEK ボタンを押す毎に、数値を表示します。

例えば、**3**→**8**→**0**→**2**→**2**→**5** と表示した場合は、**380.225**
MHzを受信中です。

② オートディマー機能

電池の消耗を抑えるため、5秒間各操作ボタンが押されていない場合
は、エリア表示インジケータの表示を暗くします。

③ バッテリー・ロー・アラーム

電池が消耗した場合に、エリア表示インジケータとアラーム音で、
お知らせします。エリア表示インジケータが点滅し、アラーム音
“ピッピッ”が2秒間隔で鳴っている場合は、電池が消耗していますの
で、電池の充電をおこなってください。

充電の方法は、「P5. 3.ご使用になる前に」をご覧ください。

9. 使用上のご注意

1. 本機は精密部品を多数搭載しています。
故障の原因になりますので、分解や改造はしないでください。
また、急激な衝撃や振動を加えないでください。
2. 本機の外部電源電圧はDC12Vです。
定格以外の電圧は絶対に加えないでください。
3. 過充電にならない様にしてください。
ACアダプターなどの外部電源を接続したままでご使用になっている場合でも、内蔵のニッカド電池に充電されます。
ご使用にならない場合は、ACアダプターなどの外部電源は外してください。
4. 雑音（ザー音）とは違う信号音で受信することがあります。
本機は、デジタル通信や制御チャンネル、および音声反転方式以外の秘話装置を使用した通信を、音声で受信することはできません。
5. 本機を高温・多湿になる場所や直射日光の当たる場所に長時間放置しないでください。故障や変形の原因になります。
6. テレビやラジオ及びその他の無線局からは離れた場所で、ご使用ください。これらの機器の影響を受けることがあります。

10. 使用上の制限

電波法により、特定の相手方に対して行われる通信（無線及び電話）の内容や存在を、第三者に漏らしたり、行動に移したりすることが禁止されています。
厳重に注意してください。

11. 故障とお考えになる前に

ご使用に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	① 電池が消耗している →充電してください（P5 参照） ② 電源プラグが奥まで入っていない ③ 外部電源がきていない →他の機器が使用できるかどうか、確認してください。
音がでない (受信できない)	① 電源が入っていない ② 音量レベルが低い ③ イヤホンが接続されている
変な信号音や音声がある	① 制御チャンネルや音声反転式以外の秘話通信を受信している →音声での受信はできません。 ② 秘話がかかっている通信を、秘話解読モードで受信している →秘話解読機能を解除してください。 (P12 参照)
音声途切れる	① 電波状態が良くない →(MONI)ボタンを押してください。 ② プライオリティ受信をしている →プライオリティ受信を解除してください。 (P10 参照)

12. 主な仕様

● 受信周波数	347.0~440.0MHz 770.0~944.0MHz
● 受信電波型式	FMナロー
● 周波数ステップ	12.5/20/25KHz
● メモリー数	チャンネルメモリー 16チャンネル パスメモリー 16チャンネル
● 受信感度	0.2 μ V 12dB SINAD
● アンテナインピーダンス	50 Ω
● 電源電圧	DC3.6V 内蔵ニッカド電池 DC12V 外部電源
● 消費電流	50mA 無信号時
● 動作温度範囲	-10 $^{\circ}$ C~+60 $^{\circ}$ C
● 外形寸法	60 (W) \times 27 (D) \times 105 (H) mm 突起部は除く
● 重量	140g
付属品	マルチバンドアンテナ 1本 ニッカド電池パック 1個 (本体内蔵) ACアダプター 1個 (AC100V用) イヤホン 1個 ハンドストラップ 1個
別売品	外部スピーカー PS-35

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
3. つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
(ニ)保証書のご提示がない場合
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 本証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ